

邑南町 有機農業実施計画

1. 市区町村												
邑南町												
2. 計画対象期間												
令和5年～令和9年												
3. 対象市区町村における有機農業の現状と5年後に目指す目標												
<p><b>ア 有機農業の現状</b></p> <p>(1) 栽培面積・販売数量</p> <p>令和3年度時点で、国際水準の有機農業を実施している水稲栽培面積は約8.9ha、販売数量は約25tである。そのうち、有機JAS認証を取得している水稲栽培面積は約8ha、販売数量は約23.6tである。</p> <table border="1" data-bbox="186 808 684 1111"> <tr> <td colspan="2">有機栽培</td> </tr> <tr> <td>面積(ha)</td> <td>8.9</td> </tr> <tr> <td>生産数量(t)</td> <td>25.08</td> </tr> <tr> <td colspan="2">うち有機JAS取得</td> </tr> <tr> <td>面積(ha)</td> <td>8.03</td> </tr> <tr> <td>生産数量(t)</td> <td>23.67</td> </tr> </table> <p>※令和4年度環境保全型農業直接支払交付金 取組状況より</p> <p>(2) 有機JAS認証取得者数</p> <p>令和4年2月時点で有機JAS認証を取得している生産者は4事業者、有機加工食品の製造者は2事業者である。</p> <p><b>イ 5年後に目指す目標</b></p> <p>(1)有機米栽培面積 : 8.9ha → 20ha (有機JAS規格の取組水準による水稲栽培面積)</p> <p>(2)有機米販売数量 : 25t → 60t</p> <p>(3)有機野菜栽培面積 : 0ha → 2ha</p> <p>(4)有機農業実践者 : 5人 → 10人</p> <p>(5)学校給食有機米利用 : 8回 → 年12回</p> <div data-bbox="204 1671 1155 2018"> </div> <p>※イメージ図</p>	有機栽培		面積(ha)	8.9	生産数量(t)	25.08	うち有機JAS取得		面積(ha)	8.03	生産数量(t)	23.67
有機栽培												
面積(ha)	8.9											
生産数量(t)	25.08											
うち有機JAS取得												
面積(ha)	8.03											
生産数量(t)	23.67											

#### 4. 取組内容

##### ア 有機農業の生産段階の推進の取組

###### (1) 有機農産物 栽培マニュアルの作成

目的：より高品質な有機農産物を安定的に栽培するため

今後有機農業への参入を試みる農業者の一助とするため

方法：実証ほ場を選定し、地域内で行われている栽培方法を確認し、土壌分析・収量調査・食味調査の結果等をもとに作業等の改善を行い、栽培行程や肥培管理等をまとめる

###### (2) 農業者向け研修会の開催

- ・有機農業の基礎知識について
- ・有機栽培技術の普及
- ・生産経費や有機 JAS 認証取得補助事業等について 等

###### (3) 農業者に向けた意向調査の実施

- ・有機農業に取り組む意向のある農業者の掘り出し・把握
- ・販売先、販売価格、生産量の明確化を図る

##### イ 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組

###### (1) 消費者・事業者・農業者等に向けた意向調査の実施

- ・消費者や事業者のニーズ把握、有機農業に取り組む意向のある農業者の掘り出し・把握
- ・販売先、販売価格、生産量の明確化を図る

###### (2) 学校給食での有機米使用

- ・有機農業に対する地域の理解を深める

###### (3) 消費者・事業者向け講座の開催

- ・有機農産物の基礎知識について（有機 JAS 認証制度や有機農産物の紹介・PR 等）
- ・親子で参加できるワークショップ（料理教室、ほ場での生き物調査等） 等

##### ウ 販売先拡大

- ・JA プロジェクトとの連携
- ・産直市等での販売
- ・広島市等での商談会参加（マーケットインで生産対応、販路確保）
- ・楽天農業、日本販売農業協同団体連合会等での販売

##### エ その他（特別栽培米「石見高原ハーブ米」の振興等）

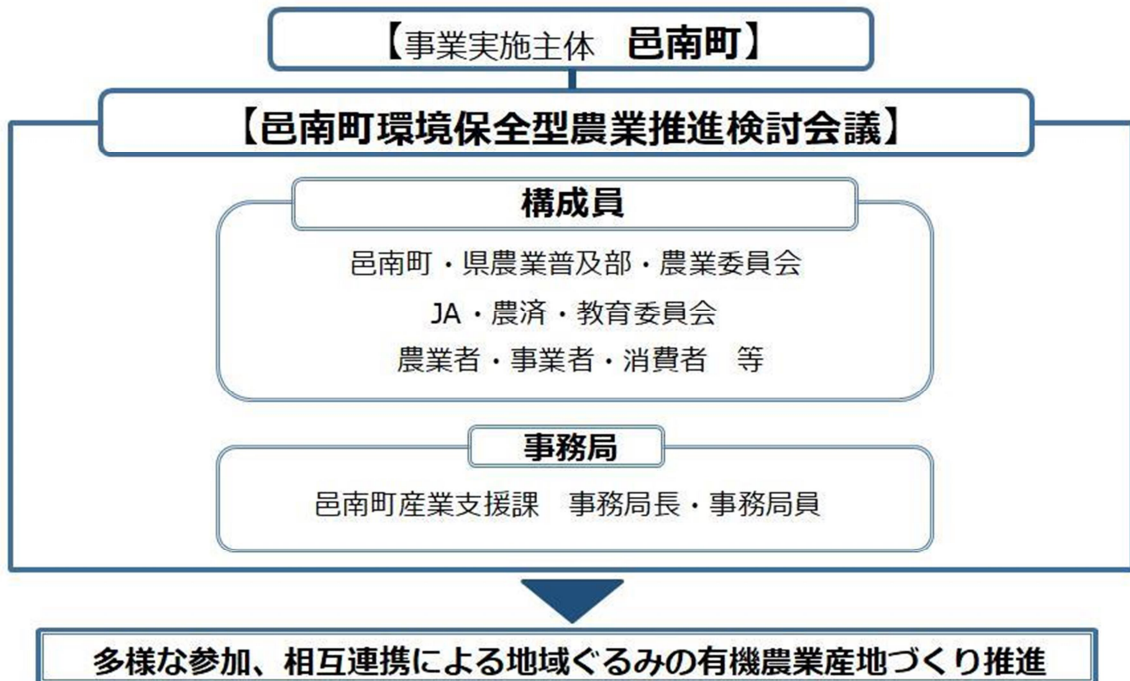
これまで邑南町では特別栽培米である「石見高原ハーブ米」の生産振興を行ってきた。

レッドクローバーを緑肥として水田に漉き込んで栽培するハーブ米は邑南町の特徴的な農産物といえ、環境にやさしい農業の取組として今後も振興する。

また、特別栽培以外にも新たに邑南町独自の認証制度を設けるなど、特色ある農産物のブランディングを進めていく。

## 5. 取組の推進体制

### ア 実施体制図



### イ 関係者の役割

- 構成員 : 邑南町・県農業普及部・農業委員会・JA・農済・教育委員会・農業者・事業者・消費者  
有機農業の拡大に向けての意見交換や本計画の実現に向けた取組の実施
- 専門的支援 : 島根大学生物資源科学部  
有機農業実施計画・有機農産物栽培マニュアルの策定支援
- 事務局 : 邑南町産業支援課  
計画のまとめ及び周知

### ウ 資金計画

別紙参照

## 6. その他（達成状況の評価、取組の周知等）

有機農産物の栽培面積及び、販売量、実践者数については、環境保全型農業直接支払交付金の申請書類や現地確認等によって調査・評価することとし、学校給食における有機米利用については、町教育委員会で確認を行う。

また、町内外の商談会等への出展や町ホームページ等を通じて取組の周知を行う。

(別紙)

資金計画

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
区分	1. 生産 691,000 円 2. 流通 61,000 円 3. 消費 260,000 円	1. 生産 691,000 円 2. 流通 61,000 円 3. 消費 260,000 円	1. 生産 800,000 円 2. 流通・加工・ 消費 100,000 円 3. 販路拡大 100,000 円	1. 生産 800,000 円 2. 流通・加工・ 消費 100,000 円 3. 販路拡大 100,000 円	1. 生産 800,000 円 2. 流通・加工・ 消費 100,000 円 3. 販路拡大 100,000 円

※令和5年度及び令和6年度については、みどりの食料システム戦略（緊急対策）推進事業費交付金を活用する。